



畜産を志し、土台作り 飼養管理から人工授精まで



ん引してくれる期待の星です。また、最近ではより良い牛作りのために調教も積極的に行っています。

私たちは実習だけでなく、講義も受けます。畜産の歴史、肉牛、乳牛、飼料作物など基礎的なことから家畜人工授精など専門的なことまで、広く、深く、畜産を志す私たちは将来の土台作りを行っています。

畜産経営学科は他の学科に比べ校外学習が多くて有名です。優秀な農家さんや飼料の製造工場、家畜市場などを見学し、畜産に関する知識が増える良い機会です。見学先の方は、とても丁寧に教えてくださるのでますます畜産への理解が深まります。

農大に入学して二年。私たちは無事に進路を決めることができました。就農、雇用就農、就職などそれぞれ進む道は違うけれど、とても大切な仲間が増えました。辛いこと、楽しいこと、たくさんの事を経験し、成長しました。残りの学校生活を大切な仲間と共に過ごしていきたいと思っています。

(畜産経営学科・市川元基)

新連載

農を学ぶ

栃木県農業大学校①



栃木県農業大学校は、創立百十年を迎えた歴史と伝統のある本県唯一の農業者養成教育・研修機関で、多くの優れた農業者を輩出しています。

高校卒業者を入学対象とした「本科」と就農を目指す社会人を研修する「研修科」を設置し、優れた農業

経営者等を育成するため、専門性の高い知識や技術について実践的教育・研修を行っています。

今回から四回シリーズで、「本科」の学科・専攻を紹介させていただきます。

畜産経営学科

今年度の学生は一年生十四名、二年生十名の合計二十四名です。畜産経営学科での実習は、酪農、肉用牛及び飼料作物について学びます。酪農では搾乳や飼料の給与などの飼養管理、肉用牛では黒毛和種の飼養管理など。そして飼料作物では牛の主食であるロールベールサイレージ、稲わらの生産調整などを行います。

特に酪農では、今年度、待望のホルスタイン種のメス子牛二頭が産まれました。将来、農大の酪農をけ